

学校 DX 戦略コーディネータ養成講座

文部科学省履修証明プログラム

1. 学校 DX 戦略コーディネータとは

学校や教育機関においてデジタルトランスフォーメーション(DX)戦略の計画、実施、および評価をし、効果的に推進する役割を担う専門家です。

2. 学校 DX 戦略コーディネータの役割

学校 DX 戦略コーディネータは、学校のデジタルトランスフォーメーションの方向性を決定し、具体的な戦略や目標を策定する専門的な人材です。具体的には、教育プロセスの効率化、児童生徒の学習体験の向上、教育成果の最大化などの指導を含みます。そのための、DX プロジェクトの計画、予算、スケジュール、リソースの調整、および進行状況のモニタリングを担当します。また、教育分野における最新のデジタルツールやテクノロジーの選定と導入を調整し、教育プロセスや学習環境の向上を促進します。

3. 学修の方法

◆新しい生活スタイルの新しい研修スタイル

新しい社会の Global・Innovation に対応した継続性を必要とした生涯学習の実現のために e-Learning を基盤とした Multi Campus One Digital University システムによる新しいオンラインの養成プログラムです。

この人生 100 年の時代、教育 DX 時代の社会の到来に対し、これまでの教員の資質からのキャリアチェンジが人々に求められ、これに対応できる教員研修としての高等教育でのリスキリング(Reskilling)が必要となってきました。

本 e-Learning の学びは、自宅や職場、移動途中でも、情報端末(スマートフォンやノート PC 等)さえあれば「いつでも、どこからでも、誰とでも」学ぶことが可能です。

4. 教員免許上進カリキュラム

1 種免許状から専修免許状への上進を図ることができます。本養成講座を受講することにより幼稚園教諭・小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭で 1 種免許状を有する方は、教職経験年数 3 年以上で、専修免許状に上進することができます。(本講座では、16 単位取得)

(教育職員免許法別表 3)開設科目は以下の通りです。

遠隔教育特講Ⅳ ～学校DX戦略コーディネータ概論Ⅰ～	教育課程特講Ⅳ ～学校DX戦略コーディネータ概論Ⅱ～	教育原理特講Ⅳ	教育方法特講Ⅱ-Ⅳ
教育情報特講Ⅳ	教材開発特講Ⅳ	学校経営特講Ⅳ	教育経営特講Ⅳ

5. 「学校DX戦略コーディネータ養成講座」における履修証明(制度)プログラムについて

履修証明制度とは、学校教育法第105条及び学校教育法施行規則第164条の規定に基づき、大学が教育や研究に加えてより積極的な社会貢献として、主として社会人向けに体系的な学習プログラムを開設し、その修了者に対して、法に基づく履修証明書を交付するものです。

学校 DX 戦略コーディネータ養成講座
令和7年度 文部科学省認定 大学院免許法認定通信教育
中学校・高等学校教諭専修免許状
(中学校・高等学校教諭免許状一種免許状を専修免許状に上進)

【開講科目】 8科目セットでの申し込み

科 目 名	担当教員	単位	申込み期間
遠隔教育特講Ⅳ	久世 均	2	5月1日～5月20日
教育課程特講Ⅳ	齋藤 陽子	2	
教育原理特講Ⅳ	高橋 正司	2	
教育方法特講Ⅱ-Ⅳ	齋藤 陽子	2	
教育情報特講Ⅳ	久世 均	2	
教材開発特講Ⅳ	横山 隆光	2	
学校経営特講Ⅳ	高橋 正司	2	
教育経営特講Ⅳ	三尾 寛次	2	

【スケジュール】

申込期間		5月 1日～5月20日
受講料振込期間		受講確認書到着後～5月31日
教材発送期間		6月4日～6月10日
スタートアップオンライン講座(zoom で開催) どちらか1日を選択して受講【必修受講】		6月21日(土)
		6月22日(日)
課題レポート (2つの課題を同時に提出)	提出期間(必着)	10月20日～10月31日
	採点結果通知・論文課題お知らせ	11月下旬
論文課題	論文課題 提出期間	12月10日～12月20日
成績通知書 発送期間		令和8年2月下旬頃

受講料 160,000円(テキスト代金含む)

受講対象者 令和7年度内に本講座にて開講する科目は、中学校教諭一種免許状または高等学校教諭一種免許状を有し、教職経験年数3年以上の方で、専修免許状に上進する方を対象に開講しています。
(教育職員免許法別表第3)

単位認定について スタートアップオンライン講座を受講し、1科目につき、2つの課題(課題レポート)と論文課題に合格することで、単位が認定されます。

その他 1年で8科目すべて合格した方には文部科学省履修証明プログラム「学校 DX 戦略コーディネータ養成講座」の履修証明書を発行します。
年度をまたいでの受講はできません。

【授業概要】

1. 遠隔教育特講Ⅳ(学校 DX 戦略コーディネータ概論(Ⅰ))

教育 DX(Digital Transformation)時代における“新たな学び”とは、教師がデジタル技術を活用し、学びの在り方やカリキュラムを革新させると同時に、教職員の業務や組織、プロセス、学校文化を革新し、時代に対応した教育を確立することである。また、学びという側面から考えてみると教育 DX の目的は、「個別最適な学びという“新たな学び”の実現」である。20 世紀の学習観は、行動主義・認知主義の学習観を採用していた。しかし、21 世紀に入り、学習観は「主体的・対話的な深い学びの実現」という構成主義・社会構成主義の学習観に移行した。この変化から分かるように、教育が「全員に同じ教育」から「個々が持つ能力を最大限活かす教育」に変化している。ここでは、教育 DX 時代における 遠隔教育という“新たな学び”の在り方について考える。

2. 教育課程特講Ⅳ(学校 DX 戦略コーディネータ概論(Ⅱ))

学校 DX は、デジタル技術を利用して教育と学校の運営を改革し、効率的で効果的な学習環境を提供する取り組みです。生徒や教師の学習や教育のニーズに合わせたサポートが可能になり、新しい学習方法や教育ツールが生まれ、教育の質と多様性が向上していきます。このような学校 DX にかかわり、その基本概念や新しい学習方法、その評価、法的規制と倫理等について考えます。学校 DX 時代における“新たな学び”に対する教育課程(カリキュラム)を創造します。

3. 教育原理特講Ⅳ

戦後日本の教育改革のエポックに焦点をあて、教育理念、目的、内容、方法、制度に関わる基本資料・重要文献をとりあげる。原資料を読み解きながら、今日教育問題の背景、文脈について理解を深め、新たな研究動向への関心を広げる。

4. 教育方法特講Ⅱ-Ⅳ

最近の情報技術等の進展に伴い、多様な学習者に対応した多方向から撮影した教材化の開発がなされてきた。また、高品位で大容量の記録も安価で可能になり、また大容量記憶装置や高速ネットワークが急速に進み、映像教材も高品位で大容量の配信が可能になった。従来の学習教材の撮影方法や記録方法は、単方向からの撮影・記録が主なものであり、撮影方向には教材作成者の撮影意図が多く反映されていた。

今後、多様な学習者に対応した映像の教材化を考えると、これまでの単方向を主として撮影・記録されてきたものから、多様な視点で教材を提示することが必要となる。そこで、本科目は、学習教材を多方向同時撮影することにより多視点映像として教材化し、多視点映像教材の教育利用・研究での課題について考える。

5. 教育情報特講Ⅳ

21 世紀の知識基盤社会における「学力」は「他者と協働しつつ創造的に生きていく」ための資質・能力の育成である。そのために、授業では、他者と共に新たな知識を生み出す活動を引き出しつつ深い知識を創造させていく経験を、数多く積ませることが重要である。また、情報化や国際化が進み、社会が大きく変化する中で、学校、そして教師は様々な変化に直面している。児童・生徒に求められる学力の変化や授業での ICT 活用など、教師はどう対応していけばよいのだろうか。本講座では「インストラクショナルデザイン」を手がかりに、教育情報の在り方について考えていく。

6. 教材開発特講Ⅳ

教材及び学習指導方法の現状と課題を理解する。また、教材開発に必要な学習指導要領・指導目標・学習の状況、課題解決など学習活動の様態を理解し、そこで活用できる教材開発を実践的に行う。また、中・高等学校でのインターネット等、新しいメディアを活用した教材開発と教育方法の事例を学修し、それらの特徴を把握する。教材開発の改善に役立つ学習の評価方法について理解する。

7. 学校経営特講Ⅳ

今日の学校は、いじめや不登校、学級崩壊といったこれまでも指摘されてきた問題に加え、ゆとり教育の見直し、「主体的・対話的で深い学び」の導入、ICT の活用といった新たな課題への対応が求められている。一方、改正教育基本法教育理念の下、学校・地域社会・家庭が連携して生徒の「生きる力」を育むことが求められており、学習指導要領では「社会に開かれた教育課程」を重視するとともに、その理念のもとで学校が絶えず教育課程を見直し、教育活動の改善・向上を図る「カリキュラム・マネジメント」の実現が求められている。本講義では、これらの背景を踏まえ、これからの学校経営の在り方について、多面的な視点から検討する。

8. 教育経営特講Ⅳ

教育のしくみとして「公教育」を、教育の歴史的な背景や流れとして「教育政策と学校教育」を、そして、今日学校教育の運営の中で取り組まれている「マネジメント」を取り上げ、この 3 つの視点から学校における教育活動の運営や経営を探究していく。こうした学びをとおして、教育活動やその運営を動かしている「考え方」を見だし、そこから、教育実践の意味、教育の方法の在り方を問い直すこととする。

学校 DX 戦略コーディネータ養成講座
令和7年度 大学院科目履修講座
幼稚園・小学校教諭専修免許状
 (幼稚園・小学校教諭免許状一種免許状を専修免許状に上進)

【開講科目】 8科目セットでの申し込み

科 目 名	担当教員	単位	申込み期間
遠隔教育特講	久世 均	2	5月1日～5月20日
教育課程特講～初等教育～	齋藤 陽子	2	
教育原理特講～初等教育～	高橋 正司	2	
教育方法特講Ⅱ～初等教育～	齋藤 陽子	2	
教育情報特講～初等教育～	久世 均	2	
教材開発特講～初等教育～	横山 隆光	2	
学校経営特講～初等教育～	高橋 正司	2	
教育経営特講	三尾 寛次	2	

【スケジュール】

申込期間		5月 1日～5月20日
受講料振込期間		受講確認書到着後～5月31日
教材発送期間		6月4日～6月10日
スタートアップオンライン講座(zoom で開催) どちらか1日を選択して受講【必修受講】		6月21日(土)
		6月22日(日)
課題レポート (2つの課題を同時に提出)	提出期間(必着)	10月20日～10月31日
	採点結果通知・論文課題お知らせ	11月下旬
論文課題	論文課題 提出期間	12月10日～12月20日
成績通知書 発送期間		令和8年2月下旬頃

受講料 160,000円(テキスト代金含む)

受講対象者 令和7年度内に本講座にて開講する科目は、幼稚園教諭一種免許状または小学校教諭一種免許状を有し、教職経験年数3年以上の方で、専修免許状に上進する方を対象に開講しています。
(教育職員免許法別表第3)

単位認定について スタートアップオンライン講座を受講し、1科目につき、2つの課題(課題レポート)と論文課題に合格することで、単位が認定されます。

その他 1年で8科目すべて合格した方には文部科学省履修証明プログラム「学校 DX 戦略コーディネータ養成講座」の履修証明書を発行します。
年度をまたいでの受講はできません。

【授業概要】

1. 遠隔教育特講(学校 DX 戦略コーディネータ概論(Ⅰ))

教育 DX(Digital Transformation)時代における“新たな学び”とは、教師がデジタル技術を活用し、学びの在り方やカリキュラムを革新させると同時に、教職員の業務や組織、プロセス、学校文化を革新し、時代に対応した教育を確立することである。また、学びという側面から考えてみると教育 DX の目的は、「個別最適な学びという“新たな学び”の実現」である。20 世紀の学習観は、行動主義・認知主義の学習観を採用していた。しかし、21 世紀に入り、学習観は「主体的・対話的な深い学びの実現」という構成主義・社会構成主義の学習観に移行した。この変化から分かるように、教育が「全員に同じ教育」から「個々が持つ能力を最大限活かす教育」に変化している。ここでは、教育 DX 時代における 遠隔教育という“新たな学び”の在り方について考える。

2. 教育課程特講～初等教育～(学校 DX 戦略コーディネータ概論(Ⅱ))

学校 DX は、デジタル技術を利用して教育と学校の運営を改革し、効率的で効果的な学習環境を提供する取り組みです。生徒や教師の学習や教育のニーズに合わせたサポートが可能になり、新しい学習方法や教育ツールが生まれ、教育の質と多様性が向上していきます。このような学校 DX にかかわり、その基本概念や新しい学習方法、その評価、法的規制と倫理等について考えます。学校 DX 時代における“新たな学び”に対する教育課程(カリキュラム)を創造します。

3. 教育原理特講～初等教育～

戦後日本の教育改革のエポックに焦点をあて、教育理念、目的、内容、方法、制度に関わる基本資料・重要文献をとりあげる。原資料を読み解きながら、今日教育問題の背景、文脈について理解を深め、新たな研究動向への関心を広げる。

4. 教育方法特講Ⅱ～初等教育～

最近の情報技術等の進展に伴い、多様な学習者に対応した多方向から撮影した教材化の開発がなされてきた。また、高品位で大容量の記録も安価で可能になり、また大容量記憶装置や高速ネットワークが急速に進み、映像教材も高品位で大容量の配信が可能になった。従来の学習教材の撮影方法や記録方法は、単方向からの撮影・記録が主なものであり、撮影方向には教材作成者の撮影意図が多く反映されていた。

今後、多様な学習者に対応した映像の教材化を考えると、これまでの単方向を主として撮影・記録されてきたものから、多様な視点で教材を提示することが必要となる。そこで、本科目は、学習教材を多方向同時撮影することにより多視点映像として教材化し、多視点映像教材の教育利用・研究での課題について考える。

5. 教育情報特講～初等教育～

21 世紀の知識基盤社会における「学力」は「他者と協働しつつ創造的に生きていく」ための資質・能力の育成である。そのために、授業では、他者と共に新たな知識を生み出す活動を引き出しつつ深い知識を創造させていく経験を、数多く積ませることが重要である。また、情報化や国際化が進み、社会が大きく変化する中で、学校、そして教師は様々な変化に直面している。児童・生徒に求められる学力の変化や授業での ICT 活用など、教師はどう対応していけばよいのだろうか。本講座では「インストラクショナルデザイン」を手がかりに、教育情報の在り方について考えていく。

6. 教材開発特講～初等教育～

教材及び学習指導方法の現状と課題を理解する。また、教材開発に必要な学習指導要領・指導目標・学習の状況、課題解決など学習活動の様態を理解し、そこで活用できる教材開発を実践的に行う。また、中・高等学校でのインターネット等、新しいメディアを活用した教材開発と教育方法の事例を学修し、それらの特徴を把握する。教材開発の改善に役立つ学習の評価方法について理解する。

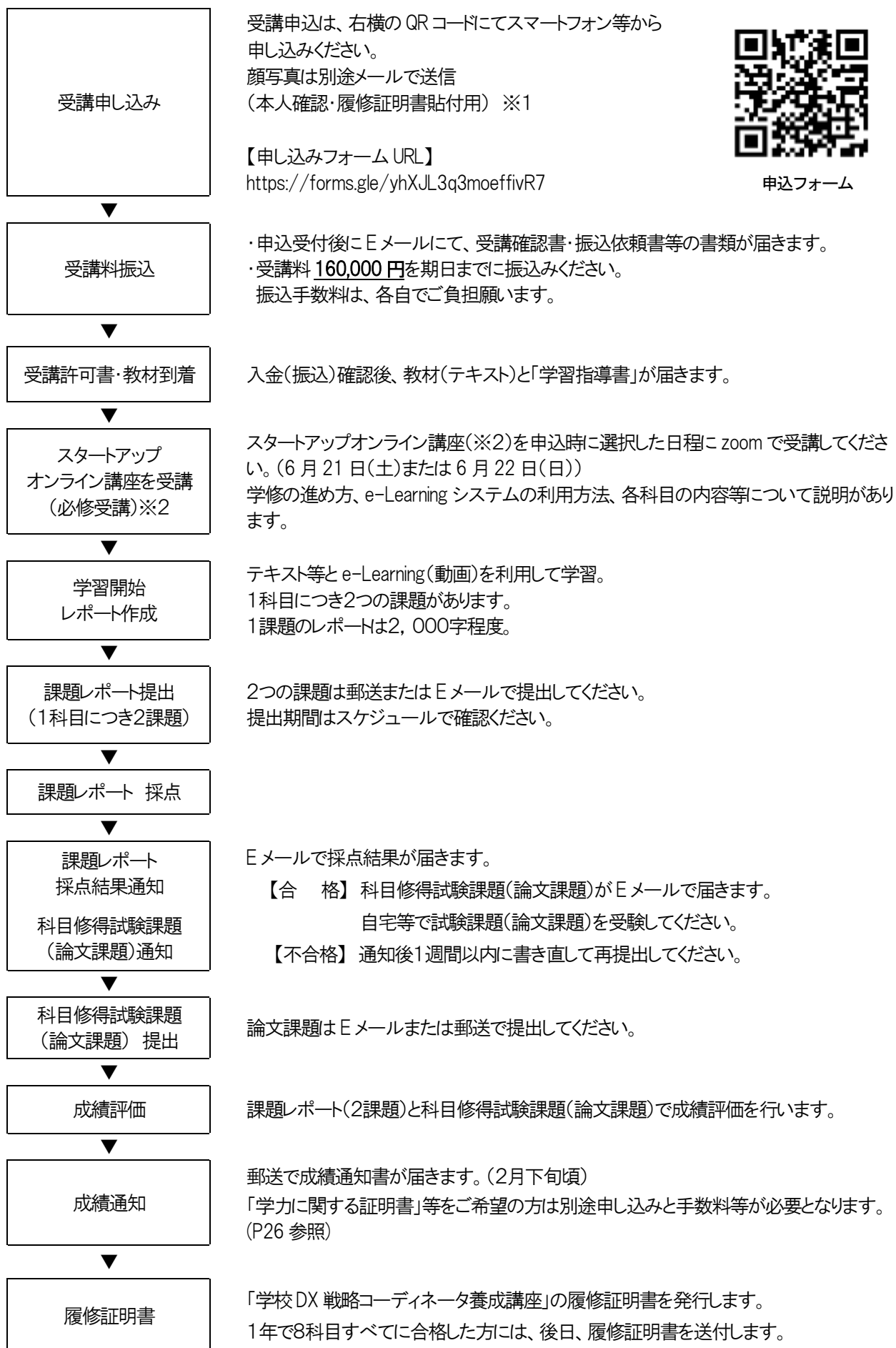
7. 学校経営特講～初等教育～

今日の学校は、いじめや不登校、学級崩壊といったこれまでも指摘されてきた問題に加え、ゆとり教育の見直し、「主体的・対話的で深い学び」の導入、ICT の活用といった新たな課題への対応が求められている。一方、改正教育基本法教育理念の下、学校・地域社会・家庭が連携して生徒の「生きる力」を育むことが求められており、学習指導要領では「社会に開かれた教育課程」を重視するとともに、その理念のもとで学校が絶えず教育課程を見直し、教育活動の改善・向上を図る「カリキュラム・マネジメント」の実現が求められている。本講義では、これらの背景を踏まえ、これからの学校経営の在り方について、多面的な視点から検討する。

8. 教育経営特講

教育のしくみとして「公教育」を、教育の歴史的な背景や流れとして「教育政策と学校教育」を、そして、今日学校教育の運営の中で取り組まれている「マネジメント」を取り上げ、この 3 つの視点から学校における教育活動の運営や経営を探究していく。こうした学びをとおして、教育活動やその運営を動かしている「考え方」を見いだし、そこから、教育実践の意味、教育の方法の在り方を問い直すこととする。

学校 DX 戦略コーディネータ養成講座 通信教育について



※1 顔写真データの提出について

- ・申込みは、申込フォームより行ってください。（申込み先は前ページ参照）
- ・申込み時に、顔写真データを別途Eメールでご提出ください。
- ・顔写真データは本人確認用及び履修証明書貼付用に使用いたします。
- ・顔写真の提出は、デジタルデータにて、次のメールアドレスにご送信ください。

＜顔写真データ送信先メールアドレス＞ openc@gijodai.ac.jp

顔写真デジタルデータ送信方法

- ・メールの件名: 大学院「学校DX 戦略コーディネータ養成講座」顔写真データ送付(申込者氏名)
- ・本文: ① 申込者氏名
② 申込フォーム記入と同じメールアドレス
- ・添付: 顔写真デジタルデータ(ファイル名を申込者氏名にしてください。)

[写真の様式について]

- ・本人のみ上半身から上が撮影されたもの
- ・正面を向いたもの
- ・無帽、マスクやサングラス不可
- ・縦長
- ・スマートフォン等の自撮りも可(但し、上記の条件を満たしてください)

zoom について

《事前準備》

- ① パソコンもしくは、タブレット端末を準備してください。
スマートフォンは画面が小さいため、講師が提示した資料が見つらい場合がありますので、パソコンでの受講を推奨いたします。
パソコンに、カメラ・マイク機能が内蔵されていない場合は、外付けの web カメラ・マイクを準備してください。
- ② zoom アプリを事前にインストールしてください。
- ③ 安定したインターネット環境を整えてください。
「有線 LAN」もしくは「Wi-Fi」によるインターネット接続をおすすめいたします。

《受講当日》

- ① 申込時に入力いただいたメールアドレスに、参加に必要な接続URL・ミーティングID・パスコードを事前に送ります。
zoom へのアクセスは、オンライン受付の時間帯(9:15~9:30)に行ってください。
- ② zoom の表示氏名は、申込した氏名をフルネーム(漢字)で表示してください。
- ③ 発言時以外は、音声はミュート(マイクは OFF)にしてください。
- ④ ビデオは常に ON にしてください。(顔が見える状態にしてください。)
- ⑤ 受講生による、スタートアップオンライン講座の録画、録音、撮影は禁止します。
スタートアップオンライン講座はオンライン(zoom)で行います

※2 スタートアップオンライン講座について【必修受講】

スタートアップオンライン講座はオンライン(zoom)で行います。

2 日間のいずれか 1 日を選択して受講してください。(6 月 21 日(土)または 6 月 22 日(日))

《スタートアップオンライン講座 時間割》

時 間	内 容	
9:15～9:30	オンライン受付	
9:30～10:20	ガイダンス オンラインに関する注意事項等連絡・説明 学習の進め方、e-Learning システムの利用方法、各科目の内容等について	
10:30～11:00	中学校・高等学校専修免許状	幼稚園・小学校教諭専修免許状
	教育課程特講Ⅳ	教育課程特講～初等教育～
11:00～11:30	教育原理特講Ⅳ	教育原理特講～初等教育～
11:30～12:00	教育方法特講Ⅱ-Ⅳ	教育方法特講Ⅱ～初等教育～
12:00～12:30	教育情報特講Ⅳ	教育情報特講～初等教育～
12:30～13:30	休憩	
13:30～14:00	教材開発特講Ⅳ	教材開発特講～初等教育～
14:00～14:30	学校経営特講Ⅳ	学校経営特講～初等教育～
14:30～15:00	教育経営特講Ⅳ	教育経営特講
15:00～15:30	遠隔教育特講Ⅳ	遠隔教育特講
15:40～16:00	質疑応答	

《おことわり》

- ① 講師または、社会状況、その他やむを得ない事情により日程・時間割が一部変更になることがあります。
- ② 9:15～のオンライン受付でご本人確認を行います。
- ③ 本スタートアップオンライン講座は、記録の為、録画させていただきますので、ご了承ください。